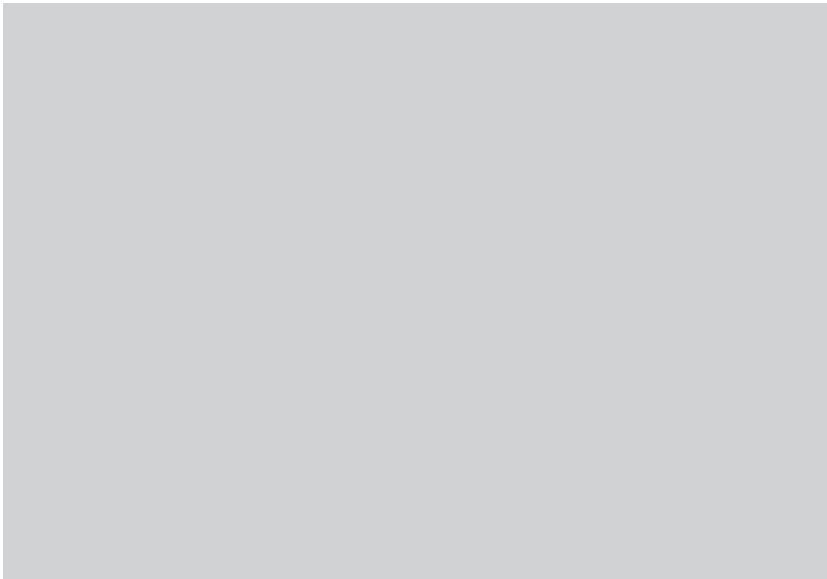


上町しせんの玉

園だより | 10月号 2023.10.18



楽しいリズムと身体 (2023.10.06 木村記)

昨日夕方、運動会での準備体操で踊る「昆虫太拳太極拳」をやってみました。

去年も踊ったことがあったので、聞き覚えはある子もいるみたい。

踊っていたみーやんをみながら、ぽつぽつと、だんだんと身体が動き始める。

見たことも、聞いたこともなかった子もなんだか身体が動いちゃう。

音楽と、周りで踊っている子たちと、その楽しそうな雰囲気と、

いろいろが混ざり合い、身体が動いちゃう。

みんなで楽しい雰囲気の中で、わいわいと楽しみました。明日も楽しみです！

10月の予定

子どもの声が聞こえてきたら

石上 雄一朗

大人も一緒に 楽しむ運動会

運動会、大人競技へのご参加ありがとうございました。お天気にも恵まれてとても楽しい時間になりました。

私たちは運動会を一つのお祭り、ハレの日だと考えています。だからこそ「大人も一緒に楽しむ」を大切にしています。子どもの姿を見ているだけではもったいない。だからこそ大人も一緒に体を動かすわけです。

今回は、ハレの日である運動会の補足として各歳児の運動会を紹介したいと思います。

《0・1歳児》は保育園という馴染みの深い場所で行います。普段、この保育園で過ごしている姿を大切にしながら、「運動・体」をキーワードに保育者たちが頭を捻らせ考えました。「子どもの世界を感じる展」では、子どもから見た大きさを体感するために4mの人間と2倍の大きさのコップと牛乳が設置しました。そして泥遊び、絵の具、ハイハイ競争で子どもと一緒に楽しむことを取り入れてみました。

《2・3歳児》は中学校で行いました。普段の遊びをベースに、環境の変化や人が多い中で「大人と一緒に」なら子どもたちは楽しく過ごせるかなと考えました。その過程で「ぎゅっぎゅっぎゅ」のわらべ歌、お腹を満たす「パン食い競争」、「なげて！おいかけ！」のごっこ遊びをベースにした競技が生まれてきました。

《4・5歳児》は2週間かけて運動会をつくります。子どもたちの遊びが続くのはだいたい2週間です。運動会も子どもたちにとって遊びの中のひとつ。そう考えています。

まずはミーティングで「じぶんがやりたい」ことを出します。この「じぶんがやりたい」がすごく大事だなと思います。こんなことやりたいが運動会の競技になっていきます。そして「じぶんがやりたい」「みんなできる」「みてるひとがわかる」の3つをもとにして5つの競技に絞っていきました。

なかなか長くなってしまったので、この続きは上町TVで動画配信いたします。お楽しみにしていてください。

今回、紹介するのは私が出逢った運動会のその後のエピソードです。

エピソードの前段として、1番目のEちゃんは運動会のリレーで負けて泣きました。ミーティングで触れてみると「もういっかいやりたい」と相手チームにリベンジを伝えますが、「やりたくない」と断ります。色々とアイディアが出ましたが両チームの納得は得られないままミーティングを終えます。

翌日のミーティング。1番目のYちゃんから「たのしくやればいいんじゃない？」と提案があると、子どもたちは「あかがよかった」「あおがいい」とチームを改めて決めることに

前向き。Eちゃんもチームを混ぜてリレーをすることに納得。その翌々日、好きなチームでリレーをすることになりました。

公園に集まってから好きなチームに別れていく。大体半分になった。次に走る順番。至るところで何番が良いかで揉めている。何番でも良い人に番号を振りながら、じゃんけんなり、あっち向いてホイなどで決まっていく。まあしかたないかと決まつてくるところもあるし、「2ばんがいい」と負けないSちゃんもいる。

いよいよ順番が決まる。運動会を経験した彼らはズラッと1列に並ぶ。もう慣れっこな感じさえする。

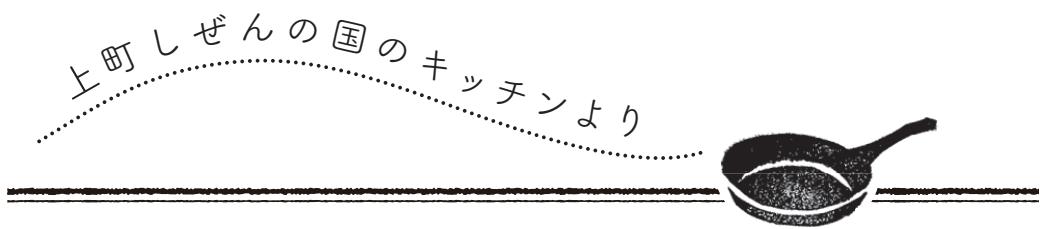
そしてスタート。どんどんと進んでいくリレー。抜かして追いついて、本当に差がない、ついにアンカー、数メートルしか差はない。ゴールに僅か1mの差でゴールした。即興チームで僅差のゴール。ワー！！っと子どもも大人も沸く！結果を発表しさらに場が湧いている。

そんな中「もう！！」と地団駄を踏むE。Eのいるチームは負けた。ジャンプをして地面を蹴るほど泣いて悔しがっている。「E、、、」と私はどうすることも出来ずにいると、「E! はしろう！」とNちゃんが声をかける。「あーー！！」と泣きながらEはNちゃんの後ろを追いかけていく。トラックを逆回りに走っていた彼女たちは歓声とコンセント鬼をしようとする子どもたちの中に消えていった。次にあった時のEは笑顔だった。

子どもの子どもへの関わりはすごいと思った。僕は何も出来なかつたし、もう少し時間があつてもどうすることも出来なかつただろうし、こんがらがっていたと思う。それに引き換える、子どもはすごい。何で走ろうと言えたんだろう。それはこの運動会を通じてEの悔しさを知っていたからだろうか。僕はまだまだ固い。もっと柔らかく、子どものことがわかるようになりたい。

(2023.10.13 石上記「ゴチャゴチャチームのリレー」より)

運動会当日だけではなく、その前があり後がある。ミーティングや競技をしてみることでその子を知っていく。何かをするための運動会ではなく、その子が表れていく運動会になっていく。大きい子たちにとって、この2週間はかけがえのないものになったはずです。



食の風景・秋

お月見団子を作りました

9月29日は中秋の名月でした。
お昼前の時間に、子どもたちに声をかけ、一緒に
お供え用のお団子を作りました。
夏にお団子屋さんを経験したからか、
「ここにこなをいれてみずをいれるんだよ！」
「みずいれるのはわたしがやる～」

と、こねるところ
から丸めるところ
まで、ほとんど子
どもたちだけで出
来上りました。

中でも一番張り切っていたのがNちゃんちのS
ちゃん。

ある日、キッチンに走ってくるなり、
「11月のおやつにおはぎを入れてね～！」
これは今月だけに限らず、「今月おやつにおは
ぎある？」と聞きに来ます。
話を聞くと、和菓子が好きで特におばあちゃん
の作ってくれるおはぎが大好きなのだそう。
「おばあちゃんのおはぎはひらたくてね、おま
んじゅうみたいなかたちなの。それにあんこと



きなこをかければすてきになるよ。」
と教えてくれました。
今回は飾り用なので食べられず少し残念そうだったの
で、今度おばあちゃんのおはぎを教えてもらいながら作ってみたいです。

秋の食材

秋に旬を迎えるバターナツカボチャ。
名前から想像できる通り、ナツののような濃厚な味わいや甘味があり、なめらかでねっとりとした食感です。その特徴を活かして、お昼ごはんに丸焼きとポタージュにしていただきました。子どもたちもよく食べていたのですが、反響が大きかったのは大人で、「あれ何という野菜?! 美味しかった!」と盛り上がりました。最近ではスーパーでもよく手に入るようになったので、ぜひお家でも味わってみてほしいと思います。



- キッチン 山崎

バターナツカボチャの丸焼き

【材料】

- バターナツカボチャ：1個
- 食塩：少々
- 無塩バター：20g（溶かしておく）

- ① バターナツカボチャを皮付きのまま縦に4等分に切る。
小さいものは2等分でOK。
- ② 天板にオーブンシートを敷き、その上にカボチャを並べ、食塩を振る。
- ③ 190℃のオーブンで20分（様子を見ながら）焼く。
- ④ 溶かしバターをかけたら完成！
※お好みで黒コショウ、ガーリックパウダー、チーズなどをかけても美味しいです。

食べてみたい！ 食べてみたい！
**Recipi of
Kamimachi**
カミマチノレシピ



保健だより

やっと涼しさが出てきましたね。

今年の夏はかなり暑い日多かったです。体もバテているところにいきなり涼しく乾燥してきたので子どもも大人も体調不良になりやすいと思います。

また、今まで暑くて熱中症予防に水分をとるように促していましたが、これからは風邪予防のために水分をとるように促そうと思います。

最近便秘気味の子もよく見かけます。便秘し腸内環境が崩れると体調不良の原因にもつながります。涼しくて水分を積極的に摂ろうとしない子どもも増えてくるのでタイミングよく根気よく水分をとるように声かけしていこうと思います。

- 看護師 通山

◎感染症状況(9月分)：溶連菌感染症8名、アデノウィルス感染症19名（内職員1名）
水痘（水ぼうそう）1名、インフルエンザ2名

職員 の声

かいちやんちのあかりです。
夏休みをいてて九十九サウナの最終日の旅に行きました。別府では、BEPPU BREWERY というお店で“ラピスブルー”といふ青色で“グレーフロ味”的ビールを飲みました。これほんと「ビール??」みたいな色ですが、ホップの香りがしていつもとはまた違うビールで“おもしろがってます”
オンラインで買えるみたいです。

みーちゃんです♪
私は海が大好きです。今年から、日焼けの気持ち良さも知ったので、毎週のように行っています。そこ、足がつかない所は下駄くて、ダイビング等まだしたこと几乎没有。綺麗な海で、ドボーンと入ってみたり、
のび、来年こそ挑戦と思ってます。

まちやんちのまみちゃんごり!
6月ごろからうさぎを飼い始めました。
うわわわわモニモニ、家の癒レゼン
最近、慣れ始めたて、ソファに座るゆっくり
していると、ひざに乗ってきたり、「なごれ!」と、
チモリぬけてくるのがとても可愛いです!
「まんべんないの?」と、せひ
「写真せよ!」と声がけられてます。(※)

ホスピリティアター(医療介護)
等が必要な子ビも達も参加ができる演劇)の活動で豊田
芸術文化観光専門職大学へ
行ってきました。一日目の後城崎
温泉にちょっとだけ立ち寄ることが出来ました。今度はゆっくり
見に行ってきたいです。
水上 静